

氏名	泉 武 寛
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	甲 第 530 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和57年 3 月31日
学 位 授 与 の 要 件	医学研究科社会医学系公衆衛生学専攻 (学位規則第 5 条第 1 項該当)
学 位 論 文 題 目	尿蛋白を指標とした運動負荷に関する研究 第 1 報：尿微量蛋白定量法とその検体尿の保存法の検討 第 2 報：剣道における尿蛋白の変動
論 文 審 査 委 員	教授 青山英康 教授 産賀敏彦 教授 中山 沃

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

本研究は、公衆衛生領域において、尿蛋白測定が繁用されていることに臨み、測定方法及び試料保存法を検討した。その結果をもとに近年増加しているスポーツを行う人の運動性尿蛋白による、健康管理面への応用性を検討したものである。

第 1 報では、尿蛋白試験紙による判定と、Ponceau S による定量法を比較検討し、試料保存法としては、30 mg/dl 未満の低濃度試料では、採集当日中に測定することの必要性が、それ以上の濃度のものでは、冷凍により 8 日間保存可能であることがわかった。

第 2 報では、剣道家を対象として、稽古時間と尿蛋白排泄の量的関係を調べた結果、時間経過に対して、尿蛋白は指数関数的に増加すること、及び、2 時間稽古後の休息過程では、個人差はあるものの、90-150 分後には尿蛋白排泄は稽古前に復することが認められた。以上のことから、尿蛋白の測定は、運動負荷後の回復時間を推定する一手法として有効と考えられる。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、運動負荷に伴う尿蛋白の測定法について検討し、その応用として剣道による稽古時間と尿蛋白排泄の量的関係を検討したものである。その結果、尿蛋白試験紙による判定と併せて三塩化酢酸-Ponceau S を用いた定量法を実施することの意義を認め得た。また、試料の保存に伴う測定結果の変化についても明らかにした。

剣道による運動負荷については，稽古後に必要な休憩時間を明らかにした。これらの新知見を得たことは，価値ある業績であり，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。